

BIS が新たな高等教育枠組み (higher education framework) を発表

11 月 3 日、BIS のマンデルソン (Peter Mandelson) 大臣は、将来の高等教育の発展に向けた新たな高等教育枠組み (higher education framework) 『より高い大望 – 知識経済における大学の未来 (Higher Ambitions – The future of universities in a knowledge economy)』を発表した。

同枠組みは、大学が優秀な学生と研究者を継続的に惹き付け、国際競争力を維持するために必要な高い技能を提供し、世界クラスであり続けるための戦略を設定したもので、主に以下の内容を含んでいる。

- ・ 高レベル技能の必要性を満たす事業に重点化し、大学間の競争を促進。
- ・ プログラムの資金支出と制度設計、学生支援、就職先への企業の関わり。
- ・ 成人の大学進学を容易にするための、パートタイムで職業に即したファンデーション・ディグリー (高等専門教育学位) 取得者の増加。
- ・ 高等教育は、相応の能力がある若者であれば皆等しく受けられるものであることを保証する方法として、客観データに基づく大学入学審査を奨励。
- ・ 教育課程の質の観点から、学生が何を期待できるのかを大学が明確に設定。
- ・ 経済社会的効果に必要な、選択集中研究投資による世界クラスの研究基盤の維持。
- ・ 特に大規模 (高額な) 科学のような世界クラスの研究での大学間協力を促進。

高等教育枠組みにおける BIS の提案事項

高等教育の機会均等の確保

- 1) 大学進学を見据えた生徒への進路指導の改善。
- 2) 低所得者層の適性ある生徒がより多く大学に入学できるよう、すべての大学において、客観データに基づく新たな入学審査方法導入を検討。
- 3) 低所得者層の生徒が高いレベルの大学に多く入学できるよう、2010 年春までに更なる施策を実施。
- 4) 若者と成人が、現在の仕事に合わせて柔軟に学ぶ機会が得られるような新しいタイプの高等教育プログラムの実施。

経済回復と将来の成長に向け、より貢献するための大学支援

- 5) イングランド高等教育財政会議 (HEFCE: Higher Education Council for England) による、必要な高レベル技能を教える高等教育プログラムを開発するための新たな資金支出施策の実施。
- 6) 大学、企業、HEFCE、英国雇用技能委員会 (UKCES: UK Commission for Employment and Skills) が一体となった、主要技能の必要性に合致していない大学教育の洗い出し、学生の雇用適性を高めるための大学の取組み。
- 7) 企業が大学にとっての積極的な協力パートナーとなること。
- 8) 大学院の今後に向けた教育研究課程の総点検。

大学における研究能力の強化と経済効果への転換

- 9) 予算制約と激化する他国との競争の中での卓越した研究基盤の確保。
- 10) 研究成果の経済社会的効果を増すための新たな施策の実施。
- 11) 企業と大学間の強固で長期的な関係の支援。

高等教育における学生を惹きつける優れた指導の促進

- 12) 教育プログラムの質の観点から、すべての大学において、学生が期待できることを示した情報集の発行。
- 13) 外部評価制度の役割を強化するための大学の取組みに対する支援。

地域社会と知識社会の中心としての大学の役割強化

- 14) 地域開発局(RDA: Regional Development Agencies)や地域企業との連携による、大学の地域経済発展への貢献。
- 15) 大学の国際化への取組み。
- 16) e-ラーニングによる国境を越えた教育の成長市場で、世界をリードするための大学の強化

公財政支出抑制下における卓越した大学の維持

- 17) 大学の学部学生の授業料制度の見直し

【BIS プレスリリース】

Mandelson Outlines the Future of Higher Education (3 November 2009)

<http://www.bis.gov.uk/mandelson-outlines-future-of-higher-education>

【Higher Ambitions – The future of universities in a knowledge economy】

<http://www.bis.gov.uk/policies/higher-ambitions>

(了)